

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		百貨店(店舗企画)	・マイナス材料がなく、インバウンドも増加傾向にあり、春先の店舗改装計画もあるため、良くなるとみられる。しかし、雇用状況では人員確保に苦戦している。
		ゴルフ場(経営者)	・利用人数に関しては余り変わらないが、単価がかなり上がっており、売上の的にもかなり良くなるとみている。
		コンビニ(経営者)	・観光客や近隣のマンションの増加で、売上の増加が見込まれる。
		住宅販売会社(営業担当)	・戸建て住宅の相談件数が増え、建築費用も原価高騰のため上昇傾向である。
		コンビニ(代表者)	・年明けも観光需要を中心に安定して県経済は推移する。
		衣料品専門店(経営者)	・全体的に低調であったが、月の中旬からはプレゼント需要があった。しかしながら来月のセール待ちをしている客が多く、売上に伸び悩みがある。景気としてはまだまだ良くなる兆しがみえていない。
		その他専門店[書籍](店長)	・例年どおり年末年始の繁忙期が落ち着いていくと予想されるが、それ以外に大きく変動する要因は特に見当たらない。
		旅行代理店(マネージャー)	・春休みの商品についてはまだ動き出しが鈍いようにみられる。
		通信会社(サービス担当)	・観光客が増え好景気ということだが、携帯業界には観光客は余り関係なく、景気が変わるようには感じられない。
		住宅販売会社(代表取締役)	・工事受注は順調であるが、現場代理人、設計士が不足している。公共工事では、資格を持っている現場代理人が足りず入札をちゅうちょすることもある。
		その他飲食[居酒屋](経営者)	・店長や、中間管理職が人手不足である。ノー残業、パワハラ、セクハラ防止、アルバイトのしつけなどの対応でストレスが溜まっており、会社は管理職のケアに追われて戦略を消化しきれていない。
	観光型ホテル(マーケティング担当)	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月後の客室稼働率見込みは、前年同月実績を若干下回ると予測される。	
	x	商店街(代表者)	・大型店は、利幅を減らし値段を下げて売れるが、個店に関しては限度があり、高齢者も多いということではなかなか対応できず、大変危機感がある。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		窯業・土石製品製造業(経営者)	・公共工事が着工予定で、出荷増が期待される。
		輸送業(代表者)	・公共工事は需要期に入って順調に進んでいる。観光客の増加に伴うリゾート関連のホテルや量販店の民間工事もスタートしており、生コンの出荷は増勢である。アスファルト舗装については、例年よりは減少しているように見受けられる。
		輸送業(営業)	・建築関係の物量は、県内のホテルなどの建設ラッシュで増える見込みだが、家具、家電、外食や量販店は大きな変動はないとみられる。
		広告代理店(営業担当)	・県内における新たな取引企業が生まれてくる一方で、既存の大口取引企業の販促予算が微減の傾向が続いている。また、官公庁予算も前年比で減額の傾向にあり、先行きは厳しい状況が続くと想定している。
		会計事務所(所長)	・飲食はやや活発になっているとみられる。
	x	建設業(経営者)	・新規の引き合い件数が鈍い。
雇用 関連 (沖縄)		求人情報誌製作会社(編集室)	・毎年、年明け後は企業の求人意欲が活発になるため、件数は大きく増加するものとみられる。その後、数か月は高い水準で件数が推移するとみられる。
		人材派遣会社(経営者)	・求人依頼はしばらくは堅調に続くと思われる。だが、派遣会社自体も人材確保が非常に大変な状況になっているので、会社として売上、利益にどれだけ反映されるか、少し不透明なところもある。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・2月に向けて求人数が増加する。
		人材派遣会社(総務担当)	・求職者の確保が課題である。
		学校[専門学校](就職担当)	・見通しが立たないので、変わらないように自己防衛に努めたい。
		学校[大学](就職担当)	・大学新卒求人に対する動きからは、特段景気が上向きになる期待までは感じられない。
		x	-